



美しい森林づくり

保育作業体験（枝打ち）を行いました。

仙台森林管理署

仙台森林管理署は、宮城県南部19市町のうち仙台市をはじめとする13市町に所在する国有林約55千鈔を管理しています。

管内では協定締結による森林づくり制度「遊々の森・社会貢献の森」等を活用し活動する団体が多くあり、その中から今年度実施の仙台森林管理署と連携した取り組みについて紹介します。

令和三年十一月七日（日）
仙台森林管理署と「遊々の森・社会貢献の森」協定を締結し活動している「緑を守り育てる宮城県連絡会議」が主催する講座「森の案内人養成講座」の力りキユラムの一環として実施している森づくり体験・枝



現地へ移動



現地での実演指導

打ちを行いました。

仙台森林管理署から2名の職員が作業指導として参加し作業開始前に、仙台市秋保市民センターに於いて、保育作業としての枝打ちの効果、用具の紹介・使用方法と作業の安全に関する指導を行い作業現地向かい作業を開始しました。

現地は、仙台市青葉区上愛子（かみあやし）字箱倉山（はこくらやま）国有林52林班に3小班的ヒノキ人工林26年生の箇所となっています。当日は、秋晴れに恵まれ、

絶好の紅葉狩り日和で同市の秋保や



作業中の様子

作並といたった有名温泉街への街道沿いの箇所ということもあり、道行く車内からは異様な集団に映ったことでしょうか。

現地に着後、再度用具の使用方法についてレクチャーを受け講座のスタッフはもとより、特に受講生の方々は「高枝切鋸」や「手鋸」は目にしたことがあるようですが「枝打ち鋸」は見るのも持つことも初めてで、用具を使い



使用した用具（左から 高枝切鋸、枝打ち鋸、手鋸）

こなそつと悪戦苦闘しながら枝打ち作業を行いました。

受講生の方々は初めての作業ということもあり、枝打ち作業終了後明るくなった林内を改めて見直し作業終了の充実感を味わったようです。

国有林では現在あまり行われていない枝打ち作業ですが、参加者の方々が森林の育成させるうえでこの保育作業の一つの工程として森林づくりの流れを理解していただきました。それを各々がそれぞれの地域での活動や森林環境保全活動に役立てていただき、各地域に美しい森林が増えていくことを願います。



作業後の林内の様子